



## 梅雨時の交通事故防止



### 1 速度を落とし、車間距離を空けて運転しましょう！

雨天時に車を運転するときは、速度を落として車間距離を空けて運転しましょう。運転時はブレーキを掛けてから車が停止するまでの距離が長くなります。

### 2 傘差し運転はやめましょう！

・雨の日も自転車で通勤・通学する方は多いと思いますが、傘差し運転はやめましょう。

傘差し運転はバランスが不安定な上に、視界が十分確保できず、大変危険なため禁止されています。

(長野県道路交通法施行細則第14条第13号...5万円以下の罰金)

### 3 夜光反射材や自発光材を活用しましょう！

雨の日は運転手の視界が狭くなりがちです。

運転手から見えやすいように、明るい服装や夜光反射材等を活用して交通事故を防ぎましょう。

昨年5月と6月を比較すると、交通事故発生件数は5月より6月が多く、その中でも自転車が関係する事故は2倍を超えています。

今一度気持ちを引き締め、上記の点に注意して交通事故防止に努めましょう！



## 夏期の水難防止



水難は、例年6月から8月にかけて多く発生しています。

特にボートから転落したり、魚釣り中、水遊び中に溺れる等の水難が後を絶ちません。

昨年は、川で子どものみが水遊び中に流され死亡する水難や、カヤックが転覆するという水難が発生しています。

「水」に対する危険性について、家族や仲間と話し合い、地域全体で改めて見直すとともに、必要な安全対策を進めましょう。

### 水難に遭わないために、次のことに注意しましょう！

- 子どもから目を離さない！！
- 川釣りや水遊びは複数で！！
- 危険箇所の点検を！！

